

里山と稲作・水田分科会

テーマ：環境に配慮し、持続性可能な農業へ

趣 旨

稲作は、古くから現在まで日本の農業の中心となってきました。また、田んぼは食料生産の場としてだけでなく国土と地域環境を支えてきました。現在、稲作・水田は、生産者の高齢化や減反政策による耕作放棄地の増加、効率化と集約化の影響による環境への付加の増大など、様々な問題を抱えています。

稲作・水田分科会では、ご参加いただいた皆さんと話し合い、持続可能な農業へ向けて生産者・市民・行政がどのように取り組んでいくべきか考えていきたいと思えます。

スケジュール

第一部 県職員の方と、現在里山田んぼに関わる活動をしている方から、お話を伺います

10：50～10：55 主旨説明

10：55～11：15 食料・農村・農業基本法に基づく米改革について

田中雅史（農林水産部政策課水田総合利用推進室）

11：15～11：35 環境にやさしい基盤整備について

松田（農林水産部耕地課）

11：35～11：45 成東町早船地区の谷津田復元への取り組み

木下 敬三(成東の里山を守る会)

11：45～11：55 安心・安全と地域環境に配慮した田んぼへ

田崎 愛知郎（首都圏コープ事業連合）

11：55～12：10 宮城県田尻町の事例

呉地 正行（日本雁を保護する会会長）

12：10～13：00 昼食・交流会

第二部 環境に配慮した田んぼ、持続可能な田んぼへむけて、参加者の皆さん全員でテーブルを囲んで話し合います。

13：00～14：30 これからの担い手と、稲作・田んぼのあり方について

14：30～14：40 質疑応答、まとめ

メンバー

分科会代表：吉井 光

分科会副代表：所 英亮

記録係：木下 敬三

実行委員：鳥井 報恩、荒尾 稔、田崎 愛知郎、相馬 由起子、宮城 直